2025年2月9日 実施

2024年度　板橋区手話講習会進級試験　　**専門コース**

（筆記試験問題）

1. 次の文章で正しいものには○、間違っているものには×を解答用紙に記入してください。

① 手話では、主語を分かりやすいように、手の位置や動きの方向を工夫します。

② 手話で会話をする場合、空間をうまく使って、時の経過や複数の場所を表現することができます。

③ 東京都立ろう学校は石神井、葛飾、中央、大塚の４校です。私立は日本聾話学校と明晴学園です。

④ ろう学校は明治１７年に京都盲唖院が設立されたのが始まりです。

⑤ 手話通訳は音声の言葉を聞いて手話に換える「聞き取り通訳」とろう者の手話を読み取り音声の言葉に換える「読み取り通訳」があります。

⑥ 聴覚障害者の情報保障と意思疎通支援にあたる手話通訳者がより良い手話通訳を行えるようになるためには、障害者福祉を学んでおくことが必要です。

⑦ １９７０年（昭和４５年）に東京都手話通訳派遣事業が始まり、東京都手話通訳派遣協会も設立しました。

⑧ １９９１年（平成３年）に世界ろう者会議が東京で開催されました。

⑨ ろう運動６０周年記念に上映されたのは「咲む」です。

⑩ 福祉制度が受けられる対象者は身体障害者手帳を所持している人です。障害の種類が５種類で、①視覚、②聴覚、③平衡機能、④音声機能・言語機能・そしゃく機能、⑤肢体不自由です。

2. 次の文章を読み、（　　）に当てはまる語を、下記の語群の中から選び解答用紙に記入してください。

1) 板橋区では令和元年（①）に手話言語条例が制定されました。

2) 手話で会話をする場合、（②）をすると「だれが」「だれに」が分かりやすくなり、顔に向けても失礼になりません。

3) 社会福祉法人友愛十字会・東京聴覚障害者支援センターは（③）にあり、東京聴覚障害者自立支援センターは（④）にあります。

4) 第７２回全国ろうあ者大会は６月６日（木）～９日（日）（⑤）で行なわれました。
来年の第７３回は（⑥）の予定です。

5) 身体障害者（⑦）において、聴覚障害者の程度等級が2級の場合、両耳の聴力レベルがそれぞれ（⑧）デシベル以上と定められています。

6) わが国で最初の手話サークルは、１９６３年（昭和３８年）に（⑨）で誕生した手話学習会（⑩）です。

ア. 岩手県	カ. 板橋区	サ. 指さし	タ. 東京都
イ. 和歌山県	キ. 渋谷区	シ. 名指し	チ. 京都府
ウ. 兵庫県	ク. 港区	ス. みみずく	ツ. 福祉法
エ. 千葉県	ケ. 6月21日	セ. ほほえみ	テ. 解消法
オ. 新宿区	コ. 9月23日	ソ. 100	ト. 90

3. 次の団体の正式名称を解答用紙に記入してください。

① 全通研

② 板聴協

③ 全日ろう連

④ 登通会

2025年2月9日 実施

2024年度　板橋区手話講習会進級試験　　**専門コース**

（筆記試験問題　解答用紙）

（昼・夜）　氏　名

1. 【問1】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

2. 【問2】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3. 【問3】

①	
②	
③	
④	

2025年2月9日 実施

2024年度　板橋区手話講習会進級試験　　**専門コース**

（筆記試験　回答）

（昼・夜）　氏　名

1. **【問1】** 4点×10問=40点

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○	○	×	×	○	○	×	○	×	×

2. **【問2】** 4点×10問=40点

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
ケ	サ	カ	キ	イ	ア	ツ	ソ	チ	ス

3. **【問3】** 5点×4問=20点

①	一般社団法人 全国手話通訳問題研究会
②	一般社団法人 板橋区聴覚障害者協会
③	一般財団法人 全日本ろうあ連盟
④	板橋区登録手話通訳者会